



5社7名の若年大工が参加した

「共に学ぶ仲間と最後まで」

JBN・ポリテクセンター 見習・人材育成研修会

北海道職業能力開発促進研修会には三五工務店

北海道職業能力開発促進センター（ボリテクセントラル北海道）は4月14日、見習い大工育成研修会の初回研修を開催した。
研修会には三五工務店（札幌市）、エーステック（同）、川口建設（同）、武部建設（岩見沢市）、ブレイン（千歳市）の5社から7名の若年大工が

参加した。

BN・全国工務店協会の大工育成プロジェクトの一環として実施。道内で同プロジェクトの普及を進める(一社)北海道ビ同研修会は(一社)J
ポリテクセンターの指導
参考した。

ルダーズ協会（武部豊樹
代表理事）から見習い大工
育成のための研修会を開催
の要望を受け、ボリューム
クセンタ－北海道が「J
BN大工育成ガイドライン
」に基づいて育成プロ

グラムを開発した。
同研修会は、①道員の取り扱い②軸組加工③建て方内装下地④設備熱・気密⑤壁紙施工⑥加工演習へのプログラムを実施。実際の建築現場で毎月2回、1年間かけて

工を送り出した工務店経営者に対しては「社内で育成環境を作ることが大切。彼らが成長していく姿を見守ってほしい」と求めた。

道ビルダーズ協の大工育成委員長で丸三ホクシ（建設、不動産）の有澤

グラムを開発した。

同研修会は、①道具の取り扱い②軸組加工③窓枠にて方内装下地④設備・断熱・気密⑤壁紙施工⑥加工演習の一プログラムを毎月2回、1年間かけて実施。実際の建築現場で使用している材料や資材、施工方法の概要説明を受けながら、現場で行われている本来の仕事内容を理解、修得する。

研修では、床・天井・屋根を含む1坪程度の洋室小屋を作成し、道具の取り扱い方や木材加工、建て方、断熱気密、ボーラーの收め方などを修得し、2級技能士レベルの加工技術を身につける。

武部代表理事は挨拶の中で「大工職人の技術は1000年以上も継承さ

工を送り出した工務店経営者に対しては「社内でも育成環境を作ることが大切。彼らが成長していく姿を見守ってほしい」と求めた。

道ビルダーズ協の大工育成委員長で丸三ホクシン建設（石狩市）の首藤一弘社長は「将来、大工職人が重宝される時代が必ず来る。その時に皆さんがリーダーとなり後輩を引っ張っていく大工になつてほしい」と呼びかけた。

初回はansonの仕組みや刃の研ぎ方などを学んだ。同センターでの育成プログラムを開発した的野博訓指導員は「この1年間で大工職人の基礎技術を身につけてほしい。研修以外でも能力開発を

工を送り出した工務店経営者に対しては「社内で育成環境を作ることが大切。彼らが成長していく姿を見守ってほしい」と求めた。

道ビルダーズ協の大工育成委員長で丸三ホクシン建設（石狩市）の首藤一弘社長は「将来、大工職人が重宝される時代が必ず来る。その時に皆さんがリーダーとなり後輩を引っ張っていく大工になつてほしい」と呼びかけた。

初回はガンナの仕組みや刃の研ぎ方などを学んだ。同センターでこの育成プログラムを開発した的野博訓指導員は「この1年間で大工職人の基礎技術を身につけてほしい。研修以外でも能力開発を進めてもらいたい」と激励した。